

大好きな、ろくでなし。  
呑んで、恋して、喧嘩して、一刻館に陽はまた昇る。



石原真理子……(音無響子)  
石黒賢……(五代裕作)  
伊武雅刀……(四谷さん)  
宮崎美子……(朱美さん)  
藤田弓子……(一の瀬さん)  
河合美智子……(七尾こずえ)  
深見博……(茶々丸マスター)  
中垣克麻……(一の瀬賢太郎)  
草薙幸二郎……(剛 豪)  
大滝秀治……(和 尚)  
有馬一郎……(音無のおとうさん)  
アンジェラ……(大・悪一郎さん)  
萬田久子……(女)  
田中邦衛……(男)

原作……高橋留美子  
(小学館・週刊ビッグコミックスピリッツ連載)  
脚本……田中陽造  
制作……多賀美典  
プロデューサー……伊地智啓・小島吉弘  
撮影……仙元誠三  
美術……桑名忠之  
照明……渡辺三雄  
音楽……久石 譲  
テーマ曲……キルバート・オサリバン  
(アローン・アゲイン)(キティ・レコード)  
キティ・フィルム/東映 提携作品  
配給 東映

# めぞん一刻

Maison..Ikkoku

澤井信一郎監督作品

「常識じゃないんだよ、あいつ」



「スジ者でもイヌコロでもねエ  
まして普通の素人さんでもねエ……」

松田優作  
石橋 凌  
手塚理美  
片桐竜次  
平沢智子  
剛 州  
梅津 栄  
伊藤雄之助  
加藤 博  
ボート・クラウ  
石橋 洋二  
小林 桂樹  
阿木 燿子

原作……松田優作  
脚本……松田優作  
脚本……丸山昇一・松田優作  
監督……松田優作  
プロデューサー……藤田 昌  
監理……藤田 昌  
音楽……久石 譲  
主題歌……キルバート・オサリバン  
APOSTROPHE  
キティ・フィルム/東映 提携作品  
配給 東映

# アポステロフ

HUSARU MATSUBA



# 風

出会った瞬間、  
街は弾けた。

沖繩から東京・新宿。一台の疾駆するバイクに乗って、男は風になつた。

ヤクザ組織の対立に緊張する街に現われた正体不明の「風」と呼ばれる男と、組織に身を置きながら、行き場のない若い獣の血を抱える男・山崎との出会い、奇妙な魂の触れ合いを醸し出した。しかし、「風」の出現が引金になったかのように暴発した組織抗争は、山崎を「風」を、そして街に息づく人々をも、音をたてて巻き込んでゆく。



そして、相手役となる大島組組員・山崎には、A・R・Bのリーダー、石橋凌、「裏側に狂気を秘めた混じりつけのない性格。三年前から一緒に映画をや



# 稲妻

# ア・ホーマンス

YUSAKU MATSUO



「優作」ネオ・アクション主義  
その山崎の恋人・千加に手塚理美、「風」の過去を握る女に阿木耀子が、それぞれの個性を生かし、表情豊かな好演で作品を彩っている。また、大島組幹部にポール牧が扮し、喜劇役者が影に持つ「狂気」を垣間見せている。

脚本は、「野獣死すべし」「化石の荒野」等でハードストーリーに定評のある丸山昇一と松田優作の共同脚本。撮影に「汚れた英雄」「Wの悲劇」等の仙元誠三、美術には「それから」「キヤバレー」等の今村力をはじめ、力量あるスタッフがあつた。そして音楽には、松田優作の音楽活動を支え、また他のミュージシャンのプロデュースも手掛けている奈良敏博、羽山伸也があたり、新感覚の映像により高い緊迫感を与えるサウンドを展開している。また、映画のラストに流れる主題歌「AFTER 45」は、石橋凌率いるA・R・Bが担当、ロック・バラードをセンシティブに聴かせている。(オリジナル・サウンドトラックLP、主題歌シングル、共に8月21日発売)。  
ボルテージの高さで感性を挑発する「ア・ホーマンス」は松田優作が、また新たに映画界に送り込んだハードな風となつた。



# 一度は住んでみたい一刻館

# (一刻館的人格)

音無響子(石原真理子)亡夫惣一郎さんと五代くんとの間で揺れ動く21歳。美人でしっかり者だが、時々トレンチカンカンなのも魅力。  
五代裕作(石黒賢)1歳年上の管理人さん・響子さんに恋をする。だが、その人一倍のやさしさのため、何故かいつもスレ違い……。  
四谷さん(伊武雅刀)トレンチコートにソフト帽をかぶった姿はなかなかダンディだが、年齢・職業不詳、のぞきが趣味という怪人物。  
朱美さん(宮崎美子)半裸同然でアパート中を闊歩するというでたらめさ。しかし、冷めきつた人生観の中に女らしさをみせたりする。  
一の瀬さん(藤田弓子)噂話が好きて詮索好き。豪快な性格で頼まれ事も大好き。この人と一升ビンさえあれば即宴会。  
女(萬田久子)「四谷に釣られたんです」と言いながら、一刻館に現われた謎の美人。だが、四谷は関係否定する……。  
男(田中邦衛)自称「朱美の男」として「茶々丸」に通いつめていたが、朱美には冷たくあしらわれている。

ずーっと捜していた忘れ物に出会えた時のような、ときめきと懐かしさ。昨夜みた夢の続きのような楽しさ。そして、愛の予感に満ちて……。  
錆ついて動かなくなった時計塔がついている、木造二階建のアパート一刻館。  
美人で若くて未亡人の音無響子さんが亡夫の名前を貰った犬惣一郎を連れて、この一刻館の新しい管理人としてやって来たところから物語は始まる。  
冴えない浪人生・五代くんがいて、変な住人・四谷さんや朱美さんや一の瀬さんがいて、出入りしている女も男も得体が知れず、どっか変。みんなずぼらで投げやりで働くのが嫌いで昼間からお酒を飲んだり、一緒に宴会なんかやったりするとほとんど人格が変わつたりなんかして……。  
何から何まで可笑しくて不思議で奇妙な一刻館。でも、何もわからないうまま未亡人という重荷を背負って自分のバランスを保つのに精一杯だった響子さんには、とても大切な場所となる。  
高橋留美子原作1000万部ベストセラー期待の映画化  
原作は高橋留美子の同名コミックス。昭和55年10月より小学館「ビッグコミックスピリッツ」に連載されるや、たちまち大反響をよび、熱狂的ファンである「めぞにすと」たちが出現。大学生から若

# めぞん一刻

Maison Hicoku



手サラリーマンをはじめ、井上ひさし、糸井重里、秋元康、栗本慎一郎、平井和正から中山美穂、本田美奈子等、その数は100万人を超えるといわれ、単行本は第1〜11巻まで一〇〇〇万部を超える大ベストセラーとなっている。  
俊英・澤井信一郎監督による  
永遠の青春メロコメディ  
これは俊英・澤井信一郎が緻密かつ絶妙なテンポで描く、永遠の青春メロコメディである。  
永遠のマドンナ・音無響子を演じる石原真理子は、「女優育て」と定評のあるこの澤井監督のしごきを受け、「明るくてかわいい」響子さんを熱演、進境地を拓いた。  
脚本はベテラン田中陽造。原作にはない女と男を登場させ、ストーリーにより一層の厚みを持たせている。また、「Wの悲劇」「早春物語」から今回へと澤井信一郎監督と息のあったところを見せている撮影の仙元誠三、照明の渡辺三雄、美術の桑名忠之、劇中ミュージカルナンバー「それぞれの過去」(作詞/澤井信一郎)の作曲を含めた音楽担当の久石譲ら、精鋭スタッフ陣が顔を揃えている。  
主題歌には、ギルバート・オサリバンの70年代初期の大ヒット作「アロロン・アゲイン」(ゲット・ダウン)を使用。澤井監督による「人間観察の秀れた集団劇」により深みを加え、原作とはまた一味違った「奇妙で楽しい空間」をつくりあげている。

